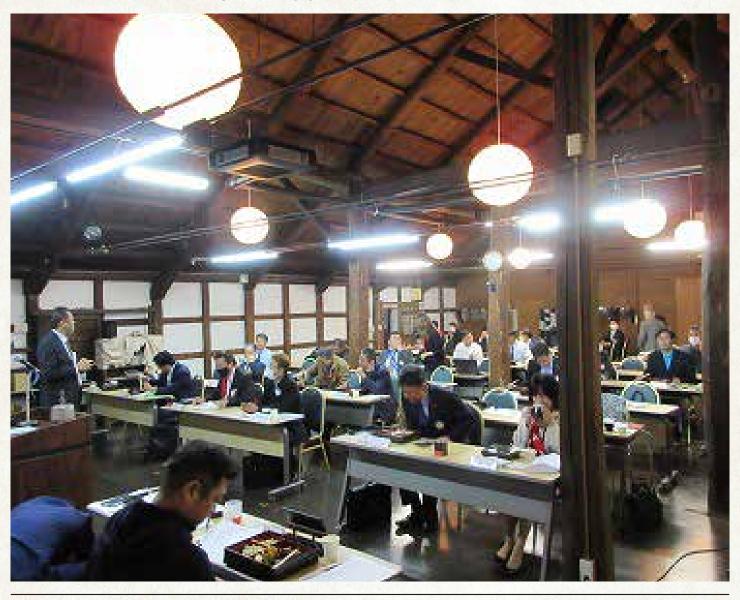


THE TOKYO FUSSA ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT 2020-2021

東京福生ロータリークラブ 2020-2021年度 例会会報 Vol.15 2020年11月4日発行

2020.10.28 第2492回 例会《経済と地域社会の発展月間・米山月間》



2020年~2021年度 国際ロータリークラブ会長テーマ ロータリーは機会の扉を開く 2020年~2021年度 会長 ホルガー・クナーク



2020年~2021年度 東京福生ロータリークラブ会長テーマ 「つなげようロータリーの輪・つたえようロータリアンの想い」 ~すべてはみんなのために~ 2020年~2021年度 会長 齋藤文人

本日の

11月4日冰 クラブ協議会 点鐘:12時30分~

「鳳山RC60周年ビデオメッセージ制作」

次回の プログラム 11月18日冰 クラブ協議会 点鐘:12時30分~

「第1回各部会会議」 ※11月11日水は休会です

会報·HP委員会

委員長:浦野 明徳 剛 副委員長:大山 員:山本 仁志 委 員:片岡 芳保 員:富澤 浩史 員:髙木 直哉



・お食事







•点 鐘 齋藤会長



・ロータリーソング

「四つのテスト」 ※CDにて



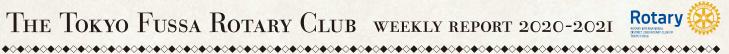
・お客様紹介 齋藤会長

入会予定者:関口 敬(せきぐち たかし)様

型枠大工 代表

紹 介 者:入江 幹事





•出席報告 宮﨑出席委員長



出席報告 2020年10月28日

会員	出席	欠席	免除	出席率
45名	39名	4名	2名	90.7%

先週の出席率訂正 80.95%→85.71%

•会長報告



◇10/14 第9回理事会報告 ◇10/24 世界ポリオデー

•幹事報告



◇第2491回(10/14)会報回覧

- ◇第2491回(10/14)会報回覧
- ◇例会臨時変更のお知らせ 東京小平RC·東京池袋RC
- ◇国際ロータリー日本事務局 My Rotaryのリニューアルに伴う修正中の問題に ついて
- ◇希望の風募金 ご協力お願いします。

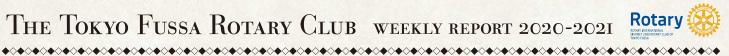
•委員会報告

◇岡田会員研修担当 11/19 RLIパートII 12/7 RLI卒後コース 案内



◇鳥居親睦委員長 9/30 夜間例会会計報告 10/4-5 親睦旅行会計報告 返金





◇佐藤社会奉仕委員長 はむらふれあい福祉バザー中止について 例会後 社会奉仕委員会開催



◇木村国際奉仕委員長・地区平和フェロー委員長 11/4例会にて鳳山RC60周年お祝いビデオメッセ ージ制作の内容説明

平和フェローシップ生 アンドレア・ルナさんが コロンビアに帰国



◇山本伸一会員 10/16 RLIパートII報告



•**ニコニコBOX** 根岸SAA委員長



齊藤 文人会長

関口敬様 ようこそお越しくださいました。本日は 福生ロータリーの美味しいお弁当と例会を楽しんで 頂ければと思います。入会もお待ちしています。 富澤会員、髙木会員 本日イニシエーションスピーチ 楽しみにしています。

入江 誠一幹事

ようこそ関口君 今年度に入会を楽しみにしています。 富澤会員、髙木会員 スピーチ楽しみにしています。

岡田 丈尋会員

富澤さん、髙木さん イニシエーションスピーチがん ばってください。

乙部 正幸会員

10月31日 11月1日 木村ギャラリーでスーツ展を 開催します。よろしくお願いします。

松本 信弘会員

久しぶりに来ました。

石川彌八郎会員

娘の華19才が本日よりシュトゥベンオータマでアル バイトです。人生初バイト。

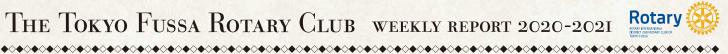
山本 仁志会員

富澤会員、髙木会員 今日の卓話よろしくお願い します。



NICONICO **BOX NOW**

本日の合計額 ¥34,000 累計 ¥1,211,975



卓話 イニシエーションスピーチ

富澤 浩史 会員

先日は歓迎会を開いていただきありがとうございま した。

二週に渡り欠席してしまいましたので、この場をお 借りしてお礼申し上げます。

本日は私のことを知ってもらえるようなお話をさせ ていただきます。

私は、八王子の北野で三人兄弟(兄・姉)の末っ子 として生まれました。父は公安の刑事をしており、とて も厳格な家庭で育ちましたので、まじめで純粋な幼 少時代を過ごしました。父の職業柄、幼少時は家族 そろって旅行等には出かけたことはなく、毎日近所で 野球などをして遊んでおりました。

学生時代は、野球・サッカー・水泳・陸上・ボクシン グなど色々なスポーツにチャレンジし今からは想像で きないほどのスポーツマンでした。

就職については、学生時代に専攻していたシステ ム機械とは全く関係ない塗料メーカーの日本ペイン トの販売会社に営業職として入社しました。

現在の妻の実家は塗料販売店を経営しており、 私が営業で出入りしていました。そこで妻と出会い結 婚しました。翌年には子供も生まれました。色々なとこ ろに家族で旅行して子供にはいい思い出を残してあ げたいという理想はありましたが、仕事が多忙・お金 がない等、なかなか旅行には行けず、当時住んでい た神奈川県の公園でよく遊んでいました。神奈川県 の大きな公園はほぼ制覇したのではないでしょうか。

その後、子供も大きくなり、周囲から今後どうする の?会社(妻の実家)は継がないの?という声が上が り始め、もともと継ぐ気はなかったのですが外堀を埋 められ、内堀も埋められ、もう行くしかない(笑)という 状況になり、10年働いた会社を退職し今の会社に入 社しました。13年前のことです。

当時、抵抗があったのが、メーカーが動いて直売で 最終ユーザーという流れが望ましく、代理店は必要な いという考えを持っていたので、その人間が代理店 に行くというプレッシャーは常にありました。前職は自 動車系の塗料、今の会社は主に建築用塗料と、まる で違う塗料を扱っていたこと、また、メーカーの営業と 代理店の営業も似て非なるもので当初はとても戸 惑いました。そんな中、昭島経営者クラブに入会所 属して、約10年、経営者としての学びや、他の経営 者の方々の考えなどを色々学ぶことが出来ました。そ の間に役員となり、4年前に代表取締役に就任いた しました。

- ・私の性格はプラス思考・楽天家(占いではいつもこ の文言が入ります)
- ·血液型はB型

- ・座右の銘は、人生80%
- ・一番を目指すのではなく、色々な分野でトップクラス
- ・どこかがダメでもすぐに切り替えられる
- ・プロではなくマルチプレーヤー

自分自身が、一つの事に気を取られ過ぎると周り が見えなくなってしまう傾向があるので、自分だけで はなく、社員にも、上記の言葉は伝えています。

- ・会社での口癖は、とりあえずやってみよう!
- ・社風の目標は、仕事は楽しく!新し物好き!

給料の為だけに、ただ一生懸命にもくもくと働くの ではなく、メリハリをつけて働き、やりたいことは出来 る限りやらせて、仕事のやりがいを持ってもらいたい。 と思います。

・取り組んでいることは、働き方改革です。

自身の生い立ちから、仕事だけに没頭するのでは なく、休む時は休み、私生活を充実させる。堂々と休 めるような会社にしたいと思っています。また、お客様 には、付き合って良かったと言ってもらえるような、信 頼関係を築きたいと思っています。

最後になりますが、福生ロータリークラブでは、もう一 回り大きな人間として成長し、皆様と一緒になって、 仕事や地域の活性化に繋がる取組みをして行きた いと思っています。何かありましたら気軽に声を掛け て下さい。是非、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申 し上げます。ご清聴ありがとうございました。

髙木 直哉 会員

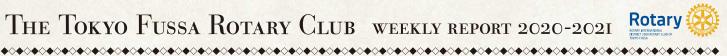
檜原村の髙木でございます。お世話になっており

先日10月28日に卓話という形でイニシエーション スピーチの時間を用意していただきましたが、時間が なく、15歳までの出来事と雑談で終わらせてしまいま したので、ここで文章にて代返させて頂きたいと思い

まず私は42年前、檜原村の高木建設株式会社と いう建設会社を経営する2代目社長のもとに生まれ ました。ひとり息子です。私の父も母も二人とも檜原 村の生まれです。

父は現在70歳中盤くらいでしょうか、どういった人 かというと、自民党支部長、西多摩神社総代、地元 消防団の団長、戦争遺族会会長などを歴任した、そ ういった人でございます。

-方、母親は学校で教師をやっておりました。そん な中、私は産まれ、父の経営する会社の敷地に家を 作り、そこへ父と母と私で生活しておりました。その会 社の敷地から幼稚園、小学校と通うようになるわけで す。



私が学校へ出かける時間には外に20人ほど、従 業員の方や下請けの会社の方たちが集まっておりま す。私はその中を毎朝くぐり抜けるように学校へ通っ ておりました。

私の父が経営する会社は、建築工事や道路工 事、河川工事を行うほか、土砂災害や雪が降った際 の道路のスリップ防止などの災害復旧も行っており ました。災害復旧の仕事となると、復旧されるまで夜 を徹して行う場合が多いです。

ある日、私が小学校5年生の時でした。私、将来は プロ野球選手になることを考えており、ある冬の雪の 日に夜にお風呂上がりで湯冷ましあって、会社の敷 地内の庭で、東京ドームで40本打つための素振りし ておりました。

そんな時、10t級の重機で夜遅くまで従業員の方 が道路の除雪作業をやっていて、燃料の補給に会 社敷地内にやってきました。それを見かけた私は、夜 を徹して、くたくたに働く従業員の方に「おじさん、大 変だね」と声を掛けました。そうしたらその従業員の方 が私にこう言うわけです

「おう、大変だよ、あと10年もしたらお前もやるんだ からな」こう言ってきました。

そこで私は、「いや俺10年後はプロ野球選手だか ら」と言ったら、「バカ、お前跡取りだろ、お前が会社 を継いでやらなきゃ誰が道路の雪はきするんだ?雪は きしなきゃみんなが困るだろ?」と言われました。

たしかにおっしゃるとおり、確かに私が会社の跡を 取り、継続させていかなければ、世間に迷惑がかか る、私が災害復旧に携わる会社を継続させなけれ ば、檜原村の道路が通行不能になった時に地域住 民は仕事や学校に行けない、火事が起きても消防車 が来れない、体調の悪い人がいても救急車が来れな い、犯罪が起きても警察車両も来れない、こんな状 態になってしまいますので、それは回避しなければい けないと考えました。

そして、会社を継ぐためにはいち早く仕事を覚えな ければいけないということで、小学校6年生から父の 会社でアルバイトを始めました。当然、本業は学生な ので、春休み、夏休み、冬休みの長期休暇の期間だ けで、まだ小学生ですので、工事現場はよくないとい うことで資材、機材の名前を覚える目的として敷材基 地の整理、清掃を行いました。

そして中学生に進学すると本格的に工事現場で 働くようになりましたが、働くといっても詳しいことは 何もわからないので小間使い程度で参加しておりま した。父は中学生の私が働くにあたり、経営者として 世間的なことを気にしておりましたが、先生方からは 稼業を手伝い感心するとの評価をいただいておりま した。

中学も卒業が間近となると、進路の問題が出てき ます。私の職業としての選択として、建設関係を専門 とする高校へ進学することが望ましいと思いました が、取引先の社長さんから、建設の専門より法規や 経済、経営を勉強した方が良いとの指摘を受け、たま たま近くに商業科の高校があったため、そこに進学す ることにしました。

高校に進学しても父の会社でのアルバイトは続け ましたが、社会勉強のため、ほかの建設会社や建設 業以外の業種でのアルバイトも行いました。色々な 他の会社のスタイルを見てきましたが自分が商業科 に通っていたため、父の会社以外の経営方針、商法 などは非常に勉強になりました。

高校生活も終わりが近づき、また進路の問題があ りました。就職するか進学するかというところで、また 父の会社の取引先の社長に相談したところ、「建設 業の技術は俺が教えてやる。経営は学校で勉強した だろうから、今度は建設業に関わる者として、設計の 勉強をしてこい」ということで工事の施工はさておき、 建設業の設計に関わる学科を専攻して進学すること となりました。地元先輩の通う短期集中型の専門学 校があったため、そちらに進学しました。高校の担任 の評価をいただいていたため、簡単な作文で合格さ せていただきました。

専門学校は全国区で、短期集中型というメリットも あって、各都道府県から上京し、通ってくる方がほと んどで年齢も19歳から35歳までと幅広く、会社から 勤務という形で勉強に来る方が半数ほどいて、技術 的な勉強のほか他県の建設業の事情なども勉強に なりました。学校を卒業し振り返ると、高校や専門学 校で知り合った仲間は、私と同じような建設会社の 跡取りがいたため、今でも仕事のことで関わったりし ており、勉強させていただいたほか、自分には非常に 良い形となり、ありがたく感じております。

学校を卒業間近となり、私は修行も兼ねて、学校 の仲間の稼業の会社に就職する話でしたが、やはり 学校で学んだことが即戦力となるようで、父の会社 に入る運びとなりました。

その後、父に「家を出てどこか他から通ってくれ」と 言われ、会社から30分ほどのあきる野市で一人暮ら しを始めました。

父の会社に就職し、自分にも兵隊が必要であると 考え、地元の後輩たちを引き込み父の会社でやって おりましたが、時世もあり、建設業の不況に差し掛か りました。他の建設業者たちは仕事が激減し、災害 復旧も父の会社の契約範囲にも他業者が対応する ようになり、他の建設会社は50代や60代の方が多 く、必死に仕事を見つけては頑張っておりました。

私はそれを見て、自分はその頃まだ20代半ばでし たので、地元の災害復旧関係はこの別の建設会社 に任せて自分は別の道へ進もうと考え、仲間たちと 設計・施工管理の会社を立ち上げることを画策し始 めました。頃合いを見計らい、父に「もう、俺は時代も こんなだから、仲間たちと会社始めて、そっちでやって くよ」と話したところ、父は「会社に借金があるからも



う少し手伝ってくれ」と言ってきました。仕方なしに父 の会社で営業、経理、工事施工と業務をやっていま した。

そんな頃1つ年上の女性と結婚し、子供は女の子 2人がおります。現在中学三年生と小学校六年生で

借金は当初言われていた額の4倍はあり、返済に 10年ほど費やしてしまいました。

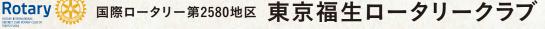
結局、新たに会社起こすなら、父の会社を継いで やればいいという話になり、今に至っております。

現在は平成中期ころの建設業の不況のあおりで 土木工事の施工業者の人手が少なくなっており、昨 今増えている自然災害に対応できる業者が少なく なってきております。私は当初から災害復旧も含めた 業務もこなせる建設会社として運営しておりましたの で、幸い迅速対応ができるせいか、今では地元檜原 よりもあきる野市、日の出町、八王子市など近隣の災 害にも対応しております。

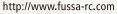
予期できない自然災害にも対応する会社を運営・ 継続させていくことは難しいですが、従業員一同、社 会インフラの供給のため努力を惜しまず頑張ってい きたいと考えております。

•点 齋藤会長











WEBサイト

Facebook

